

〈本体商品の取付情報〉

年式	型式	車種	取付商品のサイズ	本体の取付方法				注意事項	オプション ※商品別の対応状況他の詳細については、必ず取扱・取付説明書や弊社カタログ、ホームページ等でご確認ください。 ※表示価格は希望小売価格(税込)です。
				取付キット類			希望小売価格(税込)		
				他社部品手配	型番	主な付属品			
R6/12～現在	M900A系 M910A系	9インチディスプレイオーディオ付車 注21	×	取付不可					
R2/9～R6/12	M900A系 M910A系	9インチ窓口付車(オーディオレス) 注1	9型	KLS-Y904D <sup>Ⓚ</sup>	■—■ 注3	11,000円	注4	注14 純正バックカメラコネクタ変換ケーブル(注15,16,17) ●KJ-D511BC <sup>Ⓧ</sup> 6,050円 純正バックカメラコネクタ変換ケーブル(注15,16,17) ●KK-D302BC <sup>Ⓚ</sup> 3,300円 純正バックカメラコネクタ変換ケーブル(注15,16,18) ●RD-D202BC 5,500円 ●RD-D201BC 4,950円 ●RD-D101BC 4,950円 純正バックカメラ接続アダプター(注15,18) ●KK-D301BA II <sup>Ⓚ</sup> 9,350円 ステアリング連動バックガイド線表示アダプター(注19) ●KK-D101GA <sup>Ⓚ</sup> 27,500円 フリップダウンモニター取付キット(注20) ●KK-Y109FDL <sup>Ⓚ</sup> 17,600円	
			8型	KLS-Y817D <sup>Ⓚ</sup>	■—■ P 注5	22,000円			
			W2D	必要注6 KJ-D101DK <sup>Ⓧ</sup>	■—■ 注7	6,600円	注8,9		
			2D	必要注6 KJ-D89D <sup>Ⓧ</sup>	■—■ P 注10	7,150円	注8,11,12 13		
		9インチディスプレイオーディオ付車 注2	×	取付不可					

※フローティングモデルの適合情報については、弊社ホームページの「フローティングモデル適合情報」等でご確認ください。


- (注1) 全車標準はオーディオレス(9インチ窓口で純正ブラケットなし)です。
- (注2) メーカーオプションの9インチディスプレイオーディオ付車は、形状が異なる専用クラスターを使用しているため、標準モデルとワイドモデル、8V型・9V型モデルの商品は取付不可。
- (注3) KLS-Y904D<sup>Ⓚ</sup>は9V型カーナビゲーションを取付けるための車種専用の取付キットです。ブラケットの他、ダイレクト接続コネクタ(10P/6P/5P)、車速信号変換コネクタ(24P→20P/5P)、ネジ等が同梱されています。
- (注4) ディーラーオプションの9インチモデルが装着されている場合は、純正ブラケットとKJ-D101DK<sup>Ⓧ</sup>を使用しての取付けも可能です。
- (注5) KLS-Y817D<sup>Ⓚ</sup>は8V型カーナビゲーションを取付けるための車種専用の取付キットです。専用パネル(ブラック・メタリック調)、専用ブラケット、サブブラケットの他、ダイレクト接続コネクタ(10P/6P/5P)、車速信号変換コネクタ(24P→20P/5P)、ネジ類等が同梱されています。
- (注6) ディーラーオプションの7インチモデル専用スペーサー[パネル、ブラケット、ネジのセット](08606-B1150)の手配が必要です(ディーラーオプションのワイド2Dナビ/オーディオ付車の場合は、同じ部品を使用しているため手配は不要です)。
- (注7) KJ-D101DK<sup>Ⓧ</sup>にはダイレクト接続コネクタ(10P/6P、24P→20P変換)が同梱されています。
- (注8) ディーラーオプションの「パノラミックビュー・ステアリングスイッチ変換ケーブル」を使用している車両に、電源コード(ギボシタイプ)同梱のナビゲーション(2019年以降のサイバーナビW2Dモデル・AVIC-CW912IV等/2019年以降の楽ナビW2Dモデル・AVIC-RW722等。但し、AVIC-RW120/RW112/RW111/RW503等除く)を取付ける場合、KK-Y45D II<sup>Ⓚ</sup>(希望小売価格3,300円、税込)も使用可能です。なお、ワイドモデル取付時には取付キットに同梱のパネル(L、R)は使用しません。また、メーカーオプションのパノラミックビュー対応ナビレディパッケージ、またはナビレディパッケージの純正カメラ映像を映したい場合は、純正バックカメラコネクタ変換ケーブルRD-Y201BC(希望小売価格3,300円、税込)と組み合わせます。
- (注9) 純正カメラとステアリングスイッチ(オーディオ操作等)が装着されていない車両(メーカーオプションのパノラミックビュー対応ナビレディパッケージおよびナビレディパッケージを選択していない車両)で、ディーラーオプションの「パノラミックビュー・ステアリングスイッチ変換ケーブル」を使用している場合、RD-Y101DK(希望小売価格5,500円、税込)も使用可能です。なお、ダイレクト接続コネクタ類を同梱しているモデル(2014年～2015年のサイバーナビW2Dモデル・AVIC-ZH0999WS等/2013年～2014年の楽ナビW2Dモデル・AVIC-RW09等)では、同梱のダイレクト接続コネクタを利用できます。
- (注10) KJ-D89D<sup>Ⓧ</sup>にはブラケット、パネル(L、R)、配線コネクタ(10P/6P)、変換コネクタ(24P→20Pおよび車速信号他の取出し線)、ネジ類等が同梱されています。
- (注11) 取付キットに同梱のブラケットは使用しません。
- (注12) 純正カメラとステアリングスイッチ(オーディオ操作等)が装着されていない車両(メーカーオプションのパノラミックビュー対応ナビレディパッケージおよびナビレディパッケージを選択していない車両)で、ディーラーオプションの「パノラミックビュー・ステアリングスイッチ変換ケーブル」を使用している場合、KK-Y45D II<sup>Ⓚ</sup>(希望小売価格3,300円、税込)も使用可能です。
- (注13) FH-4600等を取付ける場合、商品に同梱のワイド2D窓口専用パネルの使用も可能です。その場合は取付キットに同梱のパネル(L、R)は使用しません。
- (注14) 純正ステアリングリモコン付車の場合、純正ステアリングリモコンにはそのままでは接続できません。ステアリングリモコンケーブルを同梱しているモデル(2019年以降のサイバーナビW2Dモデル・AVIC-CW912IV等/2019年以降の楽ナビW2Dモデル・AVIC-RW722等。但し、AVIC-RW120/RW112/RW111/RW503等除く)の場合は、その同梱ケーブルを配線加工しての接続が可能です。また、取付キット等で車両のオプション用24Pコネクタからステアリングリモコン用配線が20Pコネクタに分岐されている場合は、別売のステアリングリモコンアダプター KK-Y201ST<sup>Ⓚ</sup>(希望小売価格8,800円、税込)、またはステアリングリモコンケーブル KJ-Y101SC<sup>Ⓧ</sup>(希望小売価格2,200円、税込)を使用しての接続が可能です。なお、KJ-D511BC<sup>Ⓧ</sup>やKK-D302BC<sup>Ⓚ</sup>、RD-D202BC/D201BC/D101BC、KK-D301BA II<sup>Ⓚ</sup>、KK-D101GA<sup>Ⓚ</sup>を利用する場合、別売オプションの購入は不要です。但し、商品別の対応状況他の詳細については、必ず取扱・取付説明書や弊社ホームページの「純正ステアリングリモコン適合情報」等でご確認ください。
- (注15) パノラミックビュー対応ナビレディパッケージ付車、またはナビレディパッケージ付車で、取付キット等を使用し車両のオプション用24Pコネクタから映像用配線が20Pコネクタに分岐されている場合に、別売オプションが利用できます(注16、注17、注18にてご確認ください)。なお、注16、注17、注18のオプションを使用する場合はステアリングリモコンケーブルが分岐されているため、注14のKJ-Y101SC<sup>Ⓧ</sup>は不要で、取付キットや一部の本体に同梱しているステアリングリモコンケーブルは使用しません。また、これらのオプションとKK-Y201ST<sup>Ⓚ</sup>との同時使用はできません。
- (注16) パノラミックビュー対応ナビレディパッケージ付車に使用できます。パノラミックビューの映像信号をKK-D302BC<sup>Ⓚ</sup>ではRCA端子で、KJ-D511BC<sup>Ⓧ</sup>、RD-D202BCでは8Pコネクタ(2023年モデル以降の楽ナビ・AVIC-RQ722等に接続できる端子形状および配線仕様)で、RD-D201BCでは8Pコネクタ(2019年モデル以降のサイバーナビ・AVIC-CQ912IV等。但し、Xシリーズ除く/2019年～2022年モデルの楽ナビ・カメラ端子変換コネクタ同梱モデル・AVIC-RQ912等に接続できる端子形状および配線仕様)で、RD-D101BCでは5Pコネクタ(2016～2018年モデルのサイバーナビ・AVIC-CL902等に接続できる端子形状)で出力することが可能となります(但し、RD-D101BCは品薄につき、在庫切れになる場合があります)。なお、[カメラビュー表示]対応モデルであれば、シフトレバーがR以外でも、車両側スイッチでのパノラミックビュー映像出力と本体側でのカメラビュー表示切換えとで表示が可能になります(非対応モデルではシフトレバーがRの場合のみ表示します)。
- (注17) [車両スイッチ簡易連動]がある楽ナビでは、KJ-D511BC<sup>Ⓧ</sup>の使用をお奨めします。8Pコネクタの茶色線を配線すれば、車両側スイッチを押すだけでカメラビュー表示と連動させることが可能になります。なお、KK-D302BC<sup>Ⓚ</sup>を使用する場合は、ナビ同梱のカメラ端子変換コネクタ(8P)の茶色線を延長加工したうえで配線が必要となります。

※(注18)以降の注記文章は次ページにあります。


(ROOMY-2009-DY-20)

- (注18) ナビレディパッケージ付車に使用できます。純正バックカメラに電源を供給し、映像信号をKK-D301BA II ㊦ではRCA端子で、RD-D202BCでは8Pコネクター（2023年モデル以降の楽ナビ・AVIC-RQ722等に接続できる端子形状および配線仕様）で、RD-D201BCでは8Pコネクター（2019年モデル以降のサイバーナビ・AVIC-CQ912IV等。但し、Xシリーズ除く/2019年～2022年モデルの楽ナビ・カメラ端子変換コネクタ同梱モデル・AVIC-RQ912等に接続できる端子形状および配線仕様）で、RD-D101BCでは5Pコネクター（2016～2018年モデルのサイバーナビ・AVIC-CL902等に接続できる端子形状）で出力することが可能となります（但し、RD-D101BCは品薄につき、在庫切れになる場合があります）。
- (注19) ナビレディパッケージ付車で、取付キット等を使用し車両のオプション用24Pコネクターから映像用配線が20Pコネクターに分岐されている場合に使用できます。純正バックカメラに電源を供給し、ステアリング操作と連動したバックガイド線を加えた映像をRCA端子で出力します。
- (注20) KK-Y109FDL ㊦は品薄につき、在庫切れになる場合があります。また、KK-Y109FDM ㊦は生産が終了しました。
- (注21) 全車標準で9インチディスプレイオーディオ付で、専用クラスターを使用しているため取付不可。なお、R2/9～R6/12車の9インチ窓口付車（オーディオレス）に標準装着の「インストルメントクラスタフィニッシュパネル（9インチ開口）」（55410-B1070-B0〈ピアノブラック/シルバー加飾〉、55410-B1050-C1〈ピアノブラック・ドット調〉、55410-B1030-C0〈黒色シボ入〉）のいずれかを手配できれば、同年式の情報を参照できます（「インストルメントクラスタフィニッシュパネル」の意匠はグレードなどによって異なりますので、車両に合わせて選択してください。また、部品名・意匠名はメーカー呼称とは一部異なります）。

〔取付キット類の主な付属品の記号〕

	ダイレクト接続コネクター		アンテナ変換コネクター（HFC）
	配線コネクター （3電源、フロントスピーカー、リアスピーカー）		アンテナ変換コネクター（GT）
	配線コネクター （3電源、フロントスピーカー）		アンテナ変換コネクター（CE）
	専用パネル、または窓口左右の隙間を埋めるパネル		ステアリングリモコンケーブル、または ステアリングリモコン用ミニプラグ

〔オプションの記号〕

	オプション欄にこの記号がある場合は、別売のステアリングリモコンアダプター、または別売のステアリングリモコンケーブルを使用することにより、車両側のステアリングリモコン用配線との接続が可能であることを表します。
---	---

※表の見方については、本サイトの取付詳細情報（PDF）の見方、および基礎知識や用語解説などをご確認ください。



[PRS/カスタムフィットスピーカーの記号]

◎	取付可 (スピーカーに付属のコネクター使用)	⊕	取付可 (別売の配線コードでの配線が必要)
◇	取付可 (スピーカーに付属のブラケット等使用)	⊗	取付可 (別売の「カースピーカー取付キット」を使用し、 別売の配線コードでの配線が必要)
□	取付可 (別売の「カースピーカー取付キット」使用)	⊞	取付可 (別売の「インナーバッフル」を使用し、 別売の配線コードでの配線が必要)
回	取付可 (別売の「インナーバッフル」使用)	×	取付不可
◎	取付可 (配線加工が必要)	空欄	非適合、または未調査で取付可否不明
◆	取付可 (スピーカーに付属のブラケット等を使用し、 配線加工が必要)		

[ボックスタイプ/ユニットタイプスピーカーの記号]

◎	取付可	⊕	取付可 (別売の配線コードでの配線が必要)
●	取付可 (鉄板加工が必要)	⊕	取付可 (スピーカーに付属のスペーサーを使用し、 別売の配線コードでの配線が必要)
△	取付可 (別売のUD-K125使用)	×	取付不可
▲	取付可 (別売のUD-K125使用で、鉄板加工が必要)	空欄	非適合、または未調査で取付可否不明

[サテライトスピーカーの記号]

○	取付可	(×)	取付不可 (サードシート未使用時に限り取付可)
		×	取付不可
△	条件付きで取付可 (注記参照)	空欄	非適合、または未調査で取付可否不明

※表の見方については、本サイトの取付詳細情報 (PDF) の見方、および基礎知識や用語解説などをご確認ください。